

月	期	主な行事	時間	題材名	ねらい	学習活動	生徒への働きかけ
4	1期	入学式 学級開き	1	新学級への願い (1) —ウ	集団生活における目標や決まりを共通理解し、主体的に活動する意欲を育てる。	どのような学級にしたいかを交流し、学級の目指す方向やよさを確認する。	積極的に発言する姿を価値付け、意見を発表できる雰囲気づくりを大切にす。
			2	組織づくり (1) —イ	組織の役割を理解し、学級の生活を向上しようと自主的に取り組む態度を育てる。	学級組織の役割に立候補し、役割の決意を述べる。役割を決定し、自分の役割への責任をもつ。	仲間の励ましを大切にして、活動への意欲につながられるようにする。
			3	家庭学習の仕方 (3) —ア	家庭学習の仕方について理解し、学習習慣を身に付けようとする態度を育てる。	自主学習ノートの使い方を理解する。毎日継続することが、学習の定着につながることを理解する。	教材によって様々な学習方法があることを提示する。
5	1期	馬籠妻籠 体験学習	4	係活動の充実 (1) —ア	役割を確認し、よりよい生活にするための活動の工夫を考え主体的に取り組もうとする態度を育てる。	役割について個人や班で振り返り、よりよい活動にするための工夫を考え交流する。	自分の役割にどう取り組むことで学級に貢献することができるのかを試行錯誤できるようにする。
			5	学級目標づくり (1) —イ	学級への願いをもとにして、他の生徒の意見を尊重しながら話し合い活動の仕方を理解し、学級への所属感を深める。	学級の願いを再確認し、個人や集団として1年間の目標を考える。話し合い活動を進め、合意形成を図る。	理想とする個と集団の具体的な姿を出し合いながら、自分の意見だけではなく、仲間の意見を合意形成する姿を価値づける。
			6	体験学習の目指す姿 (1) —イ	体験学習に向かう心構えを共通理解し、学級集団としての目指す姿を設定し責任ある行動をとろうとする態度を育てる。	体験学習において、どのような姿を目指すか考える。意見交流をし、体験学習の取り組みについて合意形成を図る。	社会的マナーを提示することで、目指す姿を具現化する。日常生活の姿と関連させて、取り組めるようにする。
			7	体験学習の振り返り (一期の振り返り) (2) —ア	体験学習での成果と課題を見出し、日常生活での解決策を考えて自主的に取り組もうとする態度を育てる。	体験学習での振り返りを記述する。個と集団で高まったことを交流し、日常生活へつなげる意識をもつ。	具体的な姿をたくさん出すように働きかけ、よさをたくさん交流できるようにする。
6	2期	生徒会 キャンペーン 前期中間テスト	8	日常の充実 (学級力アンケート考察) (1) —ア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を深めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。学級のよさを認め合うとともに、これからの課題について交流する。	学級力アンケートの結果から、気付いたことをたくさん発表し、自分たちのよさや成長を実感できるようにする。
			9	衛生的な給食 (2) —オ	衛生的で協働的な給食時間にするために、協力して取り組もうとする態度を育てる。	今の給食の様子を振り返り、衛生的で楽しい食事にするためにはどのような工夫が必要か交流する。	衛生管理の問題、準備や片付けといった協力・協調の精神、時間の確保といった視点を明確にする。
			10	生徒会キャンペーンの振り返り (1) —ウ	学級での生活を振り返り、自主的によりよい生活をしようとする態度を育て、全校への所属感を高める。	生徒会キャンペーン活動の成果と課題を振り返る。キャンペーン活動での高まりを日常活動へつなげる。	全校の一員としてどのように取り組むことができるか、どのように姿が高まったかを視点となるようにする。
		11	私の夢と希望 (3) —ウ	将来の夢を実現させるためには、どのような努力が必要か理解し、前向きに取り組もうとする態度を育てる。	作文を読み、感想を交流し、夢の実現のためには何が必要かを考える。	将来の夢が漠然としていても、中学校生活でどのような力を必要かを考える視点とする。	
7	2期	三者懇談	12	体育祭の計画 応援リーダー選出 (1) —ウ	異年齢集団で取り組む体育祭であることを理解し、1年生として主体的に参加しようとする態度を育てる。	どのような体育祭にしたいか意見交流する。応援リーダーを選出し、学級承認する。	承認した仲間に対して、自分がどのように協力していくのかを考えるようにする。
			13	夏休みの設計 (交通マナー) (2) —エ	自転車運転時の交通安全に関することを理解し、自分の身は自分で守ろうとする態度を育てる。	自転車運転に関わる交通法令について理解する。危険についての認識を高め、実践につなげる。	危険を予測することが、安全につながることを助言する。
			14	日常の充実 (学級力アンケート考察) (1) —ア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を深めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。学級のよさを認めあうとともに、これからの課題について交流する。	学級力アンケートの結果から、気付いたことをたくさん発表し、自分たちのよさや成長を実感できるようにする。
9	3期	体育祭 前期中間テスト	15	体育祭の取組 (1) —ウ	異年齢集団の中で1年生としての目指す姿を共通理解し、学校での所属感を高めようとする態度を育てる。	1年生として、上級生の姿から学びたいことを交流し実践につなげる。	上級生の様子から、自分たちに取り入れたいことを見つけられるようにする。
			16	体育祭の 中間振り返り (1) —ア	体育祭の練習計画をもとにして、学級としての姿を振り返り、次の取組に対する意欲を高める。	取組の中での個と集団の成果と課題を交流する。練習の仕方や約束について交流し、学級としての意見を合意形成する。	現状を正しく把握し、リーダーとしての立場、フォロワーとしての立場から意見を交流できるように工夫する。
		前期 まとめの活動	17	体育祭の振り返り (2) —ア	個と集団の成果と課題を振り返り、日常生活へつなげていこうとする態度を育てる。	頑張っていた個の姿や集団の姿を交流する。学級集団としてどのようなよさがあり、どう日常に返していくかを考え交流する。	個と集団の成長をそれぞれ振り返り、学級目標に近づいた姿を明らかにできるようにする。
			18	後期組織づくり (1) —イ	役割を確認し、よりよい生活にするための活動の工夫を考え、主体的に取り組もうとする態度を育てる。	後期に担う役割に対してどう努力するかを交流する。仲間の発言に対して、励ましの言葉をかける。	決意をしっかりと語らせるとともに、仲間の励ましを活動への意欲につながられるようにする。

月	期	主な行事	時間	題材名	ねらい	学習活動	生徒への働きかけ
10	3期	後期の動きだし 学級文化活動	19	自分を知ろう (2) —ア	自分自身を振り返るとともに仲間からの助言を聞き、自己理解を深める。	班の仲間のよさをプリントに記入する。 班で交流し、自分のよさをまとめる。	よさをたくさん出すように助言することで、多面的に見ることができるようになる。
			20	前期のまとめ (学級力アンケート考察) (1) —ア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を深めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。 前回と比較する活動を通して、学級としての高まりを認め合う。	学級力アンケートの結果から、気付いたことをたくさん発表し、自分たちのよさや成長を実感できるようにする。
		合唱祭に向けて	21	後期の見通し 役割分担 (1) —イ	後期の活動を見通し、進級に向けて学級の生活を向上していくとする態度を育てる。	後期の活動を見通す。 それぞれの期で個・集団としてどのような力をつけていくか交流する。	学級解散式に向けて個として集団としての具体的な姿を視点とする。
			22	合唱祭の計画 (1) —ウ	合唱祭に向けての見通しをもち、仲間と協力して取り組む態度を育てる。	どのような合唱祭にしたか願いや理想の姿を交流する。 意見交流から学級のスローガンを決める。	具体的な理想像を学級で共有する。 学級目標と照らし合わせた合唱祭の目標をもてるように助言する。
11	4期	後期中間テスト	23	係活動の充実 (1) —ア	学級の生活をよりよくするために諸活動の工夫を考え実践につなげようとする態度を育てる。	自分や班の役割に関わって生活を振り返る。 さらにより生活にするためにどのような工夫ができるか考え交流する。	自分の役割にどう取り組むことで学級に貢献することができるのかを試行錯誤できるようにする。
			24	男女相互の理解 (2) —イ	集団生活において異性を互いに尊重し合い、共に生きる社会について理解を深める。	同じ行動であっても、男女では受け止め方が異なることを理解する。 学級の仲間が楽しく生活するための工夫を考える。	だれもが充実した生活を送る学級にするためにはという視点を出しともに生活しているという意識をもつ。
		合唱祭	25	合唱祭の取組 中間振り返り (1) —ア	合唱祭の取組を振り返り意見交流をすることで、仲間のよさを認め意欲的に取り組む態度を育てる。	取組を通して、気付いた学級の姿を振り返る。 残りの取組で大切にしたいことを考え交流する。	仲間のよい姿を交流し、自己肯定感を高める。目標の姿と取組の姿を比較し課題を明らかにする。
			26	職業講話から学んだこと (3) —イ	職業講話の話から、社会で求められる姿に迫るために、今どのような努力が必要かを考え、実践しようとする態度を育てる。	職業講話の内容を再度確認する。 自分を振り返り、今努力してつけていく能力を考える。	能力を高めるためには、どのような実践を積み重ねていく必要があるかを考えられるようにする。
12	三者懇談	27	合唱祭の振り返り (2) —ア	合唱祭の取組を通してつけた学級集団の力を振り返り、協力して日常生活を送る態度を育てる。	頑張っていた個の姿や集団の姿を交流し、集団としてどのようなよさがあり、どう日常に返していくかを考え交流する。	個としての集団としての成長をそれぞれ振り返る。 学級目標と照らし合わせ、目標に近づいた姿を明らかにしていく。	
		28	思春期の成長 (2) —ウ	異性との人間関係を築くためのルールやマナーを理解する。	日常生活の中で、どのようなことについて生活しているか交流する。 望ましい人間関係の在り方について交流する。	共に協力して生活するからこそ、だれもが気持ちよく生活するために必要なことは何か視点を提示する。	
		29	後期前半の振り返り (学級力アンケート考察) (1) —ア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を深めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。 前回と比較する活動を通して、学級としての高まりを認め合う。	学級力アンケートの結果から、気付いたことをたくさん発表し、自分たちのよさや成長を実感できるようにする。	
1	生徒会 キャンペーン	30	後期後半の見通し 新年の抱負 (2) —ア	発表した目標を互いに認め合いながら、意欲的に生活しようとする態度を育てる。	新年の抱負を個人で発表し、発表した仲間に対して班の中で助言し合う。	堂々とした姿で自分の抱負を語るができるように助言する。	
		31	文化継承の会に向けて (1) —ウ	これまでの生活を振り返り、学級・学年として築いた文化は何かを話し合い、学級への所属感を深める。	学級の誇りとしての文化は何かを交流する。 継承の会に向けて、さらに自分たちの姿を見直す。	学級力アンケートや行事の振り返りを参考にしながら、集団としてのよさを再確認する。	
		32	文化継承の会に向けて 中間振り返り (1) —ア	これまでの取組を振り返り意見交流をすることで、仲間のよさを認め意欲的に取り組む態度を育てる。	取組を通して、気付いた学級の姿を振り返る。 残りの取組で大切にしたいことを考え交流する。	仲間のよい姿を交流し、自己肯定感を高める。目標の姿と取組の姿を比較し課題を明らかにする。	
2	5期	後期期末テスト 文化継承の会 前期 生徒会選挙	33	日常の充実 (学級力アンケート考察) (1) —ア	学級力アンケートをもとに学級の高まりを振り返り、学級への所属感を深めるとともに、課題解決について考えを深める。	学級力アンケートの結果を示し、学級で交流する。 一年を通しての結果を比較し、学級としての高まりを共通理解する。	学級力アンケートの結果から、気付いたことをたくさん発表し、自分たちのよさや成長を実感できるようにする。
			34	文化継承の会振り返り (1) —ア	先輩の発表から学んだことをもとに、先輩になる自覚をもち、よりよい生活をしようとする態度を育てる。	先輩の発表から学んだことを交流する。 理想の先輩像を描き交流する。	自分たちも先輩になるという気持ちで考えるよう助言する。
3		修了式	35	ポートフォリオの作成 (2) —ア	これまでの姿を振り返り、これからの自己の生き方について考え、実践しようとする態度を育てる。	1年間の自分の成長とさらに伸ばしたい能力についてまとめる。 班で交流し、仲間からの助言を受ける。	仲間を肯定的な視点で見られることを大切にする。 助言からひとりひとりがさらなる工夫点を考えられるように助言する。
			36				